

● 第32回日本慢性期医療学会に参加

令和6年11月14日(木)・15日(金)

パシフィコ横浜ノース(神奈川県横浜市)で開催された、第32回日本慢性期医療学会に参加しました。「在宅復帰に向けてそれぞれの出来る事～いえにかえりたい～」と「介護職員の処遇改善加算を利用した当院の取り組み～法人の架け橋となれるように～」の2演題をポスターにて発表しました。大勢の方が聞きに来られ、質問や貴重な意見を頂くことができました。今回の経験を活かし、今後も多職種と連携をとりながら患者様がより良い生活が送れるよう寄り添っていきたくと思います。



● 和太鼓JINの生演奏 in げんきの郷

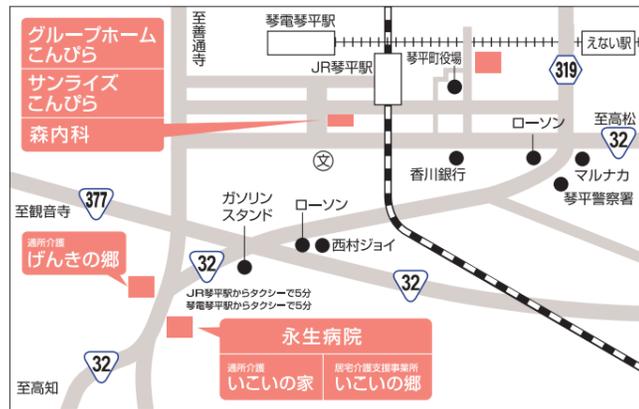
令和6年11月9日(土)

げんきの郷2階フロアで和太鼓JINによる生演奏会を開催しました。ドンドンと大きな迫力ある太鼓の音で始まり、テンポの良い太鼓の音と笛の音色に会場にいたみな魅了されました。演奏後には、全員が太鼓の体験もさせていただきました。「太鼓の音で頭がスッキリしました。」「85歳の誕生日を太鼓で祝ってもらって良かったです。」等、ダイナミックな太鼓の音にみな楽しい時間を過ごす事が出来ました。次回は青空の下で和太鼓JIN演奏を聞ける事を楽しみにしています。



【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。皆さまは、どのような新年を迎えられたのでしょうか。今年の干支は巳年ですね。「巳」の文字は胎児の形を表すという説もあり、それによれば「起こる」「始まる」「将来や未来がある」等の意味があります。今年も職員一同、日々精進しながら、新しい事に取り組んでいきたいと思っております。皆さまにとって、明るい1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



永生病院 130床(一般病棟 40床・介護医療院 90床)

医療法人 圭良会	
● 永生病院	香川県仲多度郡まんのう町買田221-3 Tel 0877-73-3300
● いこいの郷 (居宅介護支援事業所)	Tel 0877-73-3655
● いこいの家 (通所介護)	Tel 0877-73-3718
● げんきの郷 (通所介護)	香川県仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811
● 森内科	香川県仲多度郡琴平町1167 Tel 0877-73-4188
● グループホームこんびら (認知症対応型共同生活介護)	Tel 0877-73-0811
● サンライズこんびら (小規模多機能型居宅介護)	Tel 0877-58-8600

永生病院広報誌「ゆるめき」第78号
発行元：医療法人 圭良会 永生病院
編集者：接遇向上・広報委員会
住所：〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田221-3
TEL:0877-73-3300
FAX:0877-73-3202
永生病院のホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/>
発行年月日:令和7年1月15日

永 生 病 院 だ よ り

季刊 2024 冬号 vol. 78

ゆるめき

【理事長・院長のあいさつ】
2025年巳年

【部署紹介】
居宅介護支援事業所 いこいの郷

【健康ひろば】
「腰痛、坐骨神経痛」

【うまげな話】
「冷え性や肩こりについて」

【行事報告&お知らせ】
永生病院文化祭
第32回日本慢性期医療学会に参加
和太鼓JINの生演奏 in げんきの郷

【編集後記】

■ 病院理念

信頼される医療・保健・福祉を提供し、地域の健康増進に貢献する

■ 基本方針

良質な医療を提供するため、心と技術を磨く努力を惜しみません
患者の権利、尊厳、安全を重視した医療を提供いたします
医療、福祉と連携を持ち、急性期医療から在宅医療まで、全員参加で取り組みます

■ 患者の権利章典

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1. 医療を受ける権利 | 3. 知る権利 | 5. 学習する権利 |
| 2. 自己決定権 | 4. プライバシーに関する権利 | 6. 参加と協同 |



KEIRYOKAI



2025年の干支は乙巳(きのとみ)です。「乙」は十干の2番目で「軋(きしむ)」を意味し、植物が成長し広がっていく意味合いであり、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら、自身の目標に向かって進んでいく力を表しているとのこと。「巳」は十二支の6番目で蛇を表し、古来より豊穡や金運を司る神様として祀られ、神聖な生き物として認識されてきました。たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。

このような意味合いから、2025年乙巳(きのとみ)の年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く、辛抱強く、焦らず粘り強く取り組む姿勢が重要といわれています。

2040年を見据えた新たな地域医療構想の策定がすすみ、制度改革に向けて議論が大詰めを迎えており、令和6年12月18日に厚生労働省より、とりまとめ内容が発表されました。現行の地域医療構想は、主に入院医療を対象として、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4つの病床機能に区分されていました。新たな地域医療構想においては、その基本的な方向性として、以下の内容が述べられています。『85歳以上の高齢者の増加や人口減少がさらに進む2040年以降を見据え、全ての地域・全ての世代の患者が、適切に医療・介護を受けながら生活し、必要に応じて入院して、日常生活に戻れるよう目指す、また、医療従事者が持続可能な働き方ができる医療提供体制の構築を目指

す。』このためには、下記の4点を中心として、「治す医療」を担う医療機関と、「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化していくことが検討されています。

- 1) 増加する高齢者救急への対応
- 2) 増加する在宅医療の需要への対応
- 3) 医療の質や医療従事者の確保
- 4) 地域における必要な医療提供体制の維持

2040年頃をとりまく状況と課題を踏まえ、今後は病床の機能分化、連携だけでなく、外来医療・在宅医療、介護との連携、人材確保等も含めたあるべき医療提供体制の実現に資するよう、制度改革を推進すべきであるとまとめられています。

上記の新たな地域医療構想を参考にしながら、地域密着型医療を展開している当法人の医療・介護サービス内容について見直しつつ、今後も職員一丸となってよりよいサービス提供ができるよう努力してまいります。本年もよろしくお願いたします。



理事長 森 伊津子



院長 大島 弘世



部署紹介

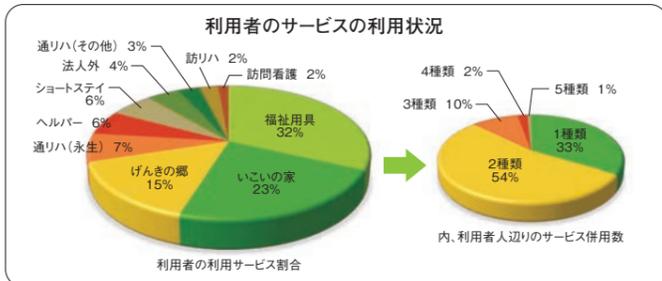
【居宅介護支援事業所いこいの郷】

居宅介護支援事業所いこいの郷は、介護支援専門員4名(内2名は主任介護支援専門員)が在籍し基礎資格は看護師が2名、社会福祉士が2名です。

要介護状態となっても住み慣れた自宅で過ごせるよう、介護する家族や周囲の人の理解と協力を得ながら、また介護サービスのみならず、地域の中にあるサービスも活用しながら利用者の自立した暮らしを支えていけるようにしています。

事業所で担当している利用者は100名を超え、まんのう町・琴平町・三豊市在住の方が多くなっています。

永生病院を中心とした通院や入院患者様の受け入れが主となっており、病院と連携を図っています。介護保険サービスだけでなく保険外のサービス活用等を取り入れたケアプラン作成を行っています。介護支援専門員としての資質向上や事業所内外の連携強化に努め、利用者やご家族に「わかりやすい説明」「選択できる説明」を心がけています。



体の安心情報板 健康ひろば 第56回 テーマ 「腰痛、坐骨神経痛」

腰痛や坐骨神経痛で困っていませんか？
腰痛や坐骨神経痛は直接に命をおびやかすわけではありませんが、足腰の痛みがあれば生活は大きく制約されます。高齢者では自身だけの問題でなく介護する家族への負担を増大させ、活動的でない生活は心身の健康にも悪影響を及ぼし、糖尿病や高血圧といった持病まで悪化させがちです。人生の楽しみをあきらめざるをえない人もいるかもしれません。

老化は止めることができませんが、適切な検査、適切な治療を行い、日常生活で自己管理に努めることで痛みは抑えることができます。重症の場合に行われる手術にも、最近により体に負担の少ない方法も増えてきています。

『腰痛』には色々な病気が含まれ、ぎっくり腰、腰椎椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊椎分離症、変性側弯症、脊柱靭帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、骨粗鬆症による脊椎骨折、脊椎腫瘍、転移性腫瘍、化膿性脊椎炎、結核性脊椎炎、心因性腰痛等があり、それぞれ治療法が変わってきます。整形外科では体のどこが、どんな動作で

痛い、どんな動作は楽か、しびれや筋力低下は伴うか、その他発熱などの症状があるか等々をお聞きします。そして、診察から必要な検査を行い、診断、そして適切な治療法をご提案します。

当院では薬物治療をはじめ、物理療法、運動療法、装具療法やブロック療法などを行うことができます。全ての方に当てはまるわけではありませんが、療法士による適切なストレッチ、筋力訓練、姿勢指導の運動療法で絶大な効果が出る方もいます。手術等の処置が必要な場合は可能な施設にご紹介します。日常生活の中で、ささいなことでもお困りごとがありましたら、気軽にお声がけください。



整形外科医師 山本 修士



健康は毎日の食事から…

うまげな話

【第42回】～冷え性や肩こりについて～

寒くなってくると、血行不良になり、冷え性や肩こりで悩まれる方が多いと思います。冷え性や肩こりを和らげるには、日ごろから身体を温め、血行をよくする事が大切です。そこで今回は、身体を温める食材について、ご紹介したいと思います。

身体を温め、血液の循環を良くする食材

- 主食** もち米・胚芽米の御飯・小麦胚芽のパン
- 主菜** 牛肉・サケ・サバ・サンマ・ウナギなどの青背魚、大豆製品
- 副菜** 南瓜・法連草・にんにく・ねぎ・とうがらし・しょうが
- その他** アーモンド・カシューナッツなどの種実類、ゆずなどのかんきつ類



食事・運動・入浴で身体を温める工夫を

- ・主食・主菜・副菜のそろった食事をとりましょう。
- ・身体を冷やす食品は避けるか、加熱してから食べましょう。
- ・甘い物や高脂肪・塩分を多く含んでいる食材は控えましょう。
- ・ストレッチやマッサージで筋肉のこりをほぐしましょう。
- ・ぬるめのお風呂(湯船)につかって、身体を温めましょう。

身体を温める食材を積極的に摂り、血行促進しましょう



栄養科

● 永生病院文化祭

令和6年11月1日(金)～

毎年恒例の作品展示を外来待合室で行いました。患者様や利用者様の得意なことや好きなことを形にした多くの作品は、訪れる方々の目を楽しませてくれました。作品を展示していただいた方々、ありがとうございました。文化祭は毎年秋に行っています。自分の作ったものを出してみたい!と思っている方は、来年ぜひご参加ください。

企画委員会

